

## 第1回専門委員会① 検討資料（妊娠期から乳幼児期におけるこども・子育て施策）

## 現計画期間中の主な取組み

## 施策1 母と子の心と体の健康づくり

## ○妊娠・出産から子育て期まで切れ目のない支援を実施

- ・出産・子育て応援事業を開始
- ・おむつと安心定期便を開始（R6年3月時点 登録率93.9%）
- ・産前・産後サポート事業を拡充（利用料軽減や多胎児家庭向けメニュー追加など）
- ・乳幼児健診のデジタル化を推進、3歳児健診に屈折検査機器による視力検査を新たに導入

## 施策2 幼児教育・保育の充実

## ○保育の受け皿を確保しつつ、多様なニーズに対応

- ・保育所整備等により保育の受け皿を確保（R5年4月時点で待機児童ゼロを達成）
- ・保育人材確保を支援（家賃助成、奨学金返済支援など）
- ・ICT化、働き方改革の推進により保育士の負担軽減を図るとともに児童の安全を確保
- ・障がい児や医療的ケアが必要な子どもの受入れを促進

## 施策3 身近な地域における子育て支援の充実

## ○子どもプラザや保育所等での支援を充実

- ・子どもプラザに子育て支援コンシェルジュを配置し相談機能を充実
- ・こども誰でも通園制度（仮称）のモデル事業を実施

## 施策4 障がい児の支援（乳幼児期）

## ○必要な支援や療育を受けられる環境づくり

- ・南部療育センターを整備（R7年4月開所予定）
- ・児童発達支援事業所の設置を促進
- ・発達障がい者支援センターの機能を強化
- ・障がい児福祉サービスの利用者負担を軽減（未就学児は無料、学齢児は上限3,000円/月に軽減）

## 施策5 子育てを応援する環境づくり

## ○経済的負担を軽減

- ・第2子以降の保育料を無償化
- ・子ども医療費助成制度を拡充（自己負担上限額を軽減、対象を高校生世代まで拡大）

## 現状と課題

## ○子育てにかかる不安や負担

- ・乳幼児保護者で、子育てが楽しいと感じる人の割合は増加した一方で、不安や負担を感じる人の割合も増加

## ニーズ調査（乳幼児保護者）

## ★子育てが「大変楽しい」又は「どちらかといえば楽しい」と答えた割合

H30 87.3% ➡ R5 90.2%

## 【参考】市の子ども施策で満足している点（R5上位3つ）

- ① 安心して医療機関にかかる体制の整備 38.9%
- ② 保育所が十分にある 22.5%
- ③ 経済的支援が充実 21.9%

※その他欄(上位3つ)

- ① おむつと安心定期便
- ② 第2子以降の保育料無償化
- ③ 市の子育て施策への意欲

## ★子育てに不安や負担を「感じる」又は「多少は感じる」と答えた割合

H30 70.5% ➡ R5 76.6%

## 【参考】子育てで日頃悩んでいること（R5上位5つ）

- ① 子どものしつけ 24.7%
- ② 食事や栄養 24.6%
- ③ 病気や発育・発達 23.2%
- ④ 子どものくせや性格 21.3%
- ⑤ 子どもの教育 20.9%

- ・経済的負担の軽減などを求める声が多い

## ニーズ調査（乳幼児保護者）

## ★充実してほしい子育て施策（R5上位3つ）

- ① 子育てにかかる費用負担の軽減 H30 72.0% → R5 72.1%
- ② 出かけやすく楽しめるイベント機会 H30 38.0% → R5 30.1%
- ③ 企業への職場環境改善の働きかけ H30 29.6% → R5 22.7%

## 【参考】その他欄への記載（R5上位3つ）

- ① 公園や室内で遊べる場所の整備、充実
- ② 病児保育の枠や数、時間の拡大
- ③ 障がいをもつ子どもへの支援の充実

## ★「ほしい子どもの数」よりも「実際に予定している子どもの数」が少ない理由（R5上位3つ）

- ① 子育てにお金がかかる＋収入に不安がある<sup>(注)</sup> H30 61.4% → R5 58.7%
- ② 身体的な負担が大きい H30 30.6% → R5 20.5%
- ③ 年齢的な理由で無理 H30 32.1% → R5 16.3%

(注) より詳細に分析するため、R5調査から選択肢に「収入に不安があるから」を追加

## ○支援ニーズの増加・多様化と、それに伴う受け皿・人材の確保

- ・産後ケア、病児・病後児デイケアの利用者が増加し、受け皿が不足

- ・保育について、国による保育士配置基準の見直しや未入所児童への対応、障がい児・医療的ケア児受入れ後のサポートに加え、こども誰でも通園制度（仮称）などへの対応が必要である一方で、保育人材の確保が課題

- ・療育センター等の新規受診児数が増加（R元年度 1,614件 → R4年度 2,080件）し、診断待ちが発生

- ・身近な地域での療育や、療育後の預かりを求める声がある